

経験がない人でも身につく！よく分かる財務の基本 決算書の読み方講座（財務初級編・2日間コース） （札幌開催）

札幌 キャンパス

財務管理

研修の目的

「決算書は社長や経理が見るもの」と思われがちですが、実際にはすべての管理者・リーダーが自部門の成果を数字で把握し、改善につなげるために欠かせないものです。この研修では、決算書の基本構造（貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書）や主要指標の意味をやさしく解説し、日々の業務やKPIが会社全体の数字にどうつながるのかを理解します。

また、決算書の各数値の裏側にある企業活動を読み解く力を養い、経営層への報告や部下への指示の根拠を“数字で語れる”実践的スキルを身につけます。経理部門の方はもちろん、現場管理者・リーダー層にとっても、“数字を味方につける第一歩”として最適な入門講座です。

※この研修は、No.7・34「決算書の読み方講座（財務初級編）」の2日間版です。

研修のポイント

- ✓ 経理、財務の知識経験が無い方にもわかりやすいよう、図解と具体事例で「決算書の全体像」を学びます。
- ✓ 決算書の数字の意味など、財務の基礎知識を学びたい初級者の方におすすめの研修講座です。
- ✓ 決算書から自社の強み・課題を読み取り、改善に活かす”着眼点”を身につけます。

研修期間

2027年 2/4(木)～2/5(金)
(2日間 13時間)

対象者

管理者、新任管理者、その候補者

- ・ 決算書の見方を基礎から学びたい方
- ・ 財務・経理部門以外の管理者の方
- ・ 財務や会計に苦手意識のある方

定員 25名

受講料 22,000円(税込)

会場

(独)中小企業基盤整備機構 北海道本部 大会議室

札幌市中央区北2条西1丁目1-7
ORE札幌ビル6階

月 日	時間	科目	内容
2/4 木	9:50～10:00	開講式・オリエンテーション	
	10:00～12:30	決算書の全体像 ～利益構造と財務状態 を読み解く～	決算書の全体像と企業活動の関係性について、演習を交えながら学びます。 ■損益計算書(PL)の読み方 ・ PLの基本構造を理解し、黒字・赤字の判断に活かす ・ 5つの利益区分の見方 ・ 売上総利益率(粗利率)と儲け管理のポイント ・ 仮説を立てて読み解く財務分析演習 ■貸借対照表(BS)の読み方 ・ BSの概念に慣れるまでの簡易的な手法「らくらく指数」を使って資金繰り状況の把握演習 ・ 減価償却費から考える経営判断及び金融機関の視点、税務の視点 ・ 純資産を軸にした「攻めの経営・守りの経営」の考え方 ・ BSの最低限のチェックポイントと安全性指標の読み方 ・ 指標のグラフ化によるビジュアル分析と未来予測 ・ 内部留保の意味と活用 ■キャッシュフロー計算書(CF)の読み方 ・ CF計算書作成に必要な資料 ・ 事業存続に不可欠な3つの活動区分(営業・投資・財務) ・ 初心者でも読めるCFの勘所と演習 ・ 金融機関が重視するCF計算書のチェックポイント
	13:30～18:00		
2/5 金	9:30～11:00	決算書を読み解く 集中トレーニング (演習)	モデル決算書を題材に、仮説を設定して読み解く演習に取り組みます。また、業種や戦略による財務体質の違いを、受講者同士でのディスカッションを交えて学び、決算書を読み解く力を養います。 ■モデル決算書を使った仮説読み解き演習 ・ 優良企業と倒産企業の決算書の違いを読み解く ・ 取引先管理としての決算書の見方 ・ 上場企業の決算書比較
	11:00～12:30		
	13:30～16:30		
	16:30～16:40	終講式	

※研修内容・日程等は変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



財務リスク研究所株式会社
代表取締役

横山 悟一(よこやま ぐいち)

会計事務所、コンサルティング会社等の勤務を経て、2002年アーネストコンサルティングを開業。2008年6月、名称を「財務リスク研究所」に変更。約10年にわたる研究を重ね、指標を使わない世界初の分析手法「ビジュアル分析」を開発。難解なバランスシートをわかりやすくだけでなく、独自に開発した「財務与信格付けシステム」により、決算書の格付け、決算書に潜むリスクや粉飾を読み解くノウハウを確立。分析した決算書はすでに6,000社を超えている。著書に『3分間で決算書が読める!』(H&I)、『売上をあげる手段としての決算書の使い方』(総合法令出版)、『小さな会社のCFO』(日経BP社)、『新リーダーへ!「これが会社の数字の読み方です」』(実務教育出版)ほか多数。

